



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場会社名 イフジ産業株式会社 上場取引所 東・福
 コード番号 2924 URL <http://www.ifuji.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 徳夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 原 敬 (TEL) 092-938-4561
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	7,949	△4.6	638	2.0	668	4.9	435	35.8
24年3月期第3四半期	8,333	△5.9	625	0.7	637	1.6	320	△22.5

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 438百万円(37.7%) 24年3月期第3四半期 318百万円(△22.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	78.40	—
24年3月期第3四半期	57.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	8,253	3,624	43.9
24年3月期	7,873	3,364	42.7

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 3,624百万円 24年3月期 3,364百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	22.00	22.00
25年3月期	—	10.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※24年3月期の期末配当22円の内訳は、普通配当金20円、記念配当金2円です。

※25年3月期(予想)の期末配当の内訳は、普通配当金13円、記念配当金2円です。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,078	2.5	927	14.6	921	12.7	515	18.8	92.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4 「2. サマリー情報 (注意事項) に関する事項 (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年3月期3Q	5,563,580株	24年3月期	5,563,580株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	7,427株	24年3月期	7,427株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年3月期3Q	5,556,153株	24年3月期3Q	5,556,142株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3 「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
鶏卵関連事業の販売実績	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に国内景気は緩やかに回復の気配がみられるものの、欧州の債務危機問題や米国の「財政の崖」の問題による海外経済の減速懸念等により、不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、雇用情勢・所得の低迷により消費者の生活防衛意識が強く、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、鶏卵関連事業において前第3四半期連結累計期間に比べ鶏卵相場が低く推移したこと、また、調味料関連事業において、東日本大震災の影響で前第3四半期連結累計期間に増加したカップめんや即席めんの需要が、当第3四半期連結累計期間では落ち着いた影響等により、前年同期比4.6%減の7,949百万円となりました。

損益面につきましては、主に鶏卵関連事業において、東日本大震災で関東工場が被災した影響が当第3四半期連結累計期間ではなかったことや、販売数量が前年同期に比べ増加したこと等により、営業利益は同2.0%増の638百万円、経常利益は同4.9%増の668百万円となりました。また、鶏卵関連事業において、本社土地の一部売却に伴う固定資産売却益143百万円を特別利益に計上したこと及び土地の減損損失79百万円を特別損失に計上したこと等により、四半期純利益は同35.8%増の435百万円となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

①鶏卵関連事業

当セグメントにおきましては、販売価格及び原料仕入価格が相場に連動して変動するものが多く、鶏卵相場が高く推移した場合は売上高、仕入高ともに増加し、低く推移した場合は売上高、仕入高ともに減少する傾向にあるため、販売価格と仕入価格の差益を一定にする努力をしております。

売上高につきましては、販売数量が前年同期比3.8%増加したものの、鶏卵相場（東京M基準値）の平均（4～12月）が前年同期間に比べ6.1%（約12円）低く推移したことから、鶏卵相場に連動する液卵の販売単価も低くなり、液卵売上高は前年同期比3.9%減の6,586百万円となりました。また加工品売上高は同0.7%減の340百万円、その他売上高は同14.4%減の147百万円となりました。この結果、合計売上高は同4.0%減の7,074百万円となりました。

損益面につきましては、鶏卵相場の低下に伴い販売単価が低下し売上高は減少したものの、仕入単価も低下したことにより売上原価が減少し差益を維持できたこと、また販売数量が増加したこと、さらに東日本大震災で被災した関東工場が全面復旧し、震災の影響がなくなったこと等により、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益（営業利益）は前年同期比6.8%増の570百万円となりました。

②調味料関連事業

当セグメントにおきましては、新商品の販売は伸びたものの、前年の東日本大震災によるカップめんや即席めんの需要増が当第3四半期連結累計期間では落ち着いたことや、既存商品の販売が減少したことから、主力製品である顆粒や粉末調味料の販売が減少し、売上高は前年同期比9.7%減の859万円となりました。

損益面につきましては、コストの削減及び生産効率の向上に努めたものの、売上高の減少の影響が大きく、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益（営業利益）は前年同期比29.8%減の58百万円となりました。

③その他

当セグメントにおきましては、不動産賃貸業及び太陽光発電事業であり、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比0.2%減の14百万円、セグメント利益（営業利益）は同12.5%増の8百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は8,253百万円となり、前連結会計年度末に比べて380百万円増加しました。

流動資産は4,442百万円となり前連結会計年度末に比べ592百万円増加しました。主な要因は、現金及び預金の増加604百万円、受取手形及び売掛金の増加386百万円、商品及び製品の減少237百万円、原材料及び貯蔵品の減少116百万円等によるものであります。

固定資産は3,810百万円となり前連結会計年度末に比べ212百万円減少しました。主な要因は、土地の減少183百万円、建物及び構築物の減少67百万円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は4,629百万円となり、前連結会計年度末に比べて119百万円増加しました。

流動負債は2,693百万円となり前連結会計年度末に比べ194百万円増加しました。主な要因は、短期借入金金の増加187百万円、支払手形及び買掛金の増加117百万円、未払法人税等の減少101百万円、災害損失引当金の減少61百万円等によるものであります。

固定負債は1,936百万円となり前連結会計年度末に比べ75百万円減少しました。主な要因は、長期借入金金の減少86百万円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は3,624百万円となり、前連結会計年度末に比べて260百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益の計上435百万円及び剰余金の配当177百万円等により利益剰余金が257百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の42.7%から43.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期の業績予想につきましては、平成24年5月14日の「平成24年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,045	1,649
受取手形及び売掛金	1,713	2,099
商品及び製品	683	446
仕掛品	35	31
原材料及び貯蔵品	271	155
繰延税金資産	73	47
その他	41	27
貸倒引当金	△14	△13
流動資産合計	3,849	4,442
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,204	1,136
機械装置及び運搬具（純額）	360	343
土地	2,212	2,029
その他（純額）	16	50
有形固定資産合計	3,794	3,560
無形固定資産		
無形固定資産	15	11
投資その他の資産		
投資有価証券	40	45
繰延税金資産	142	168
その他	59	39
貸倒引当金	△29	△13
投資その他の資産合計	212	238
固定資産合計	4,023	3,810
資産合計	7,873	8,253

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	633	751
短期借入金	1,029	1,216
未払法人税等	258	156
未払消費税等	10	52
賞与引当金	64	31
役員賞与引当金	—	17
災害損失引当金	61	—
その他	440	465
流動負債合計	2,498	2,693
固定負債		
長期借入金	1,366	1,279
役員退職慰労引当金	527	557
負ののれん	66	48
繰延税金負債	28	28
その他	21	21
固定負債合計	2,011	1,936
負債合計	4,509	4,629
純資産の部		
株主資本		
資本金	455	455
資本剰余金	366	366
利益剰余金	2,549	2,807
自己株式	△4	△4
株主資本合計	3,367	3,625
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3	△1
その他の包括利益累計額合計	△3	△1
純資産合計	3,364	3,624
負債純資産合計	7,873	8,253

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	8,333	7,949
売上原価	6,606	6,193
売上総利益	1,726	1,756
販売費及び一般管理費	1,100	1,117
営業利益	625	638
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取保険金	—	11
受取賃貸料	3	4
負ののれん償却額	18	18
その他	10	11
営業外収益合計	32	47
営業外費用		
支払利息	21	16
その他	0	—
営業外費用合計	21	16
経常利益	637	668
特別利益		
固定資産売却益	—	143
災害損失引当金戻入額	—	8
特別利益合計	—	152
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
減損損失	—	79
災害による損失	57	—
特別損失合計	57	79
税金等調整前四半期純利益	579	742
法人税、住民税及び事業税	222	306
法人税等調整額	36	△0
法人税等合計	259	306
少数株主損益調整前四半期純利益	320	435
少数株主利益	—	—
四半期純利益	320	435

四半期連結包括利益計算書
第 3 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	320	435
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	2
その他の包括利益合計	△2	2
四半期包括利益	318	438
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	318	438
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,365	952	8,318	14	8,333
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,365	952	8,318	14	8,333
セグメント利益	534	83	617	7	625

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	617
「その他」の区分の利益	7
四半期連結損益計算書の営業利益	625

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第 3 四半期連結累計期間(自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,074	859	7,934	14	7,949
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,074	859	7,934	14	7,949
セグメント利益	570	58	629	8	638

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業及び太陽光発電事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	629
「その他」の区分の利益	8
四半期連結損益計算書の営業利益	638

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第 1 四半期連結会計期間より、平成24年 4 月 1 日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第 3 四半期連結累計期間の「鶏卵関連事業」のセグメント利益が 2 百万円増加し、「調味料関連事業」のセグメント利益が 0 百万円増加しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「鶏卵関連事業」セグメントにおいて、土地の一部売却に伴い、本社土地の一部について売却予定資産として資産のグルーピングの見直しを行い、回収可能価額まで減額し、減損損失を認識いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第 3 四半期連結累計期間においては 79 百万円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

鶏卵関連事業の販売実績

(単位：百万円)

期別	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)		比較増減 (△は減)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前期比
		%		%		%
生液卵	5,854	79.5	5,500	77.7	△354	△6.1
凍結卵	996	13.5	1,086	15.4	90	9.1
液卵計	6,850	93.0	6,586	93.1	△263	△3.9
卵加工品	343	4.7	340	4.8	△2	△0.7
その他	172	2.3	147	2.1	△24	△14.4
合計	7,365	100.0	7,074	100.0	△291	△4.0